

WALLZET NOEL 3

クロゼットシステム収納

[ウォールゼット ノエル3]

取扱説明書

必ずお読みください



南海プライウッド株式会社

本社 〒760-0067 香川県高松市松福町1-15-10

首都圏営業グループ	首都圏 第1・2・3チーム	TEL (087) 825-3621	FAX (087) 825-3645
東日本営業グループ	北海道・東北営業チーム	TEL (087) 825-3632	FAX (087) 825-3695
	関東甲信越営業チーム	TEL (087) 806-3660	FAX (087) 825-3645
	中部営業チーム	TEL (087) 825-3622	FAX (087) 825-3646
西日本営業グループ	近畿営業チーム	TEL (087) 825-3623	FAX (087) 825-3647
	中四国営業チーム	TEL (087) 825-3624	FAX (087) 825-3648
	九州営業チーム	TEL (087) 825-3625	FAX (087) 825-3649
特需営業グループ	特需 第1・2・3チーム	TEL (087) 825-3662	FAX (087) 825-3669

- ご使用になる前に必ずこの「取扱説明書」をご一読いただきますよう、お願いいたします。間違った取り扱いを行いますと製品の品質劣化や損傷につながる可能性があります。本書に従わず取り扱いを行った場合については、当社での保証は致しかねますのでご注意ください。
- お読みになったあとは、大切に保管し必要な時にお読みください。

警告表示の種類と内容

人身事故や財産の損害を未然に防止するために、製品の取り扱いについて次のような警告表示をしています。内容をご理解の上、正しく安全にお使いください。

誤った取り扱いをした場合に生じる危険とその程度を、次レベルで説明しています。



この表示を無視して誤った取り扱いを行なうと使用者などが傷害（※1）を負うことが想定されるか、物的損害（※2）の発生が想定される危害・損害の程度を示す。

（※1）傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、ケガ・やけど・感電などをさす。
（※2）物的傷害とは、家屋・家財に関わる拡大損害をさす。

本文中に使われている図記号の意味は、次のとおりです。



「してはいけない」を示します。



「必ず行なっていただくこと」を示します。

注意

	<p>● 製品の上には乗らない。 棚板の落下などにより、けが・死亡事故につながるおそれがあります。</p>
	<p>● ハンガーパイプやフックハンガーにぶらさがらない。 ハンガーパイプが破損したり、落下してけがをするおそれがあります。</p>
	<p>● 耐荷重の目安を必ず守る。 棚板やハンガーに過度の重量物を置いたりすると、たわみ、変形が起こり、場合によっては落下してケガをするおそれがあります。（下記、「耐荷重の目安値」をご参照ください。）</p>

ご使用上のお願い



● **製品に水をかけない。**

本製品に直接水をかけないようにしてください。表面化粧のはがれや反りの原因となります。



● **粘着テープ（養生テープ・セロハンテープ・シール等）は貼らない。**

表面に粘着跡がのこるおそれがあります。



● **製品にシンナーなどの溶剤を付着させない。**

溶剤・薬品・油・インク等が付着しないようにご注意ください。付着した場合はすぐに拭き取ってください。放置するとシミ・変色・劣化の原因となります。



● **暖房器具などを近づけない。**

暖房器具などから発生する熱風・熱気が直接当たらないようにしてください。反り・割れ・変色の原因となります。

ステンレス素材について（対象パーツ：網棚）

- ステンレスは鉄と比べて、強度が強く錆びにくい性質を持っていますが、表面は傷が付きやすいので取り扱いにはご注意ください。
- ステンレスは素地のまま（塗装なし）で使用しますので、清掃の際には **お手入れ** の内容を守ってご使用ください。
- 濡れた包丁や缶詰、鉄製の鍋などを長時間放置すると、サビが発生（もらいサビ）することがあります。
- 鉄やアルミなどの異種金属製品と接触させたまま長時間放置すると、サビの原因となりますのでご注意ください。

お手入れ



● **日常のお手入れ方法**

乾いた柔らかい布で乾拭きする。

● **汚れがひどい場合**

木質 中性洗剤を水で薄めたものを布にしみ込ませ、強く絞って拭き取り、良く乾燥させる。

ステンレス 市販されているステンレス専用クリーナーなどで磨く。
※金属たわしやナイロンたわしなどは傷がつくので使わないでください。



● **換気をする。**

収納内部には湿気がこもりがちです。結露やカビの発生原因となりますので、時々内部の収納物を出して、十分な換気を行なってください。



● **油やインクに注意する。**

水・油・インク・薬品などが付着した場合はすぐに拭き取ってください。放置するとシミや変色の原因となります。

棚板/網棚(可動・固定)の移動・取り付け

棚板/網棚は可動棚受金具にて取り付けしている箇所(可動)と、樹脂金具にて取り付けしている箇所(固定)があります。下記を参照にして移動・取り付けを行なってください。

棚板(可動)の場合

【棚板の取り外し】 可動棚受取付箇所 前後2箇所×左右

棚板を上を持ち上げて取り外した後、前後の可動棚受金具を取り外してください。

【棚板の取り付け】
【棚板の取り外し】の逆の手順で行なってください。

注意

- 使用するダボ穴の位置が同じ高さになるようにご確認ください。
取り付けの際は可動棚受をダボ穴に奥までしっかり差し込んでください。
- 可動棚受前用には前右・前左があり、形状が異なりますので取り付け時ご注意ください。

棚板(固定)の場合

【棚板の取り外し】 樹脂金具取付箇所 前後2箇所×左右

①現在取り付けしている棚板下部の樹脂金具のキャップをあげてください。

②バインドビスL=16をプラスドライバーで左に回し、棚板を取り外してください。

注意
棚板の落下にご注意ください。

【棚板の取り付け】
【棚板の取り外し】の逆の手順で行なってください。

注意

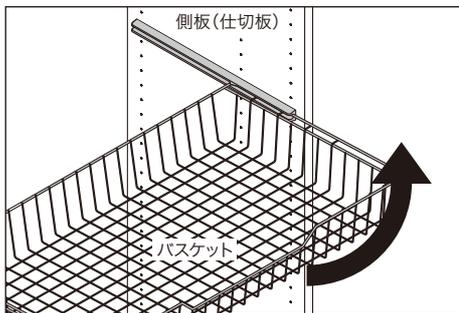
- 取り付けるダボ穴の位置が同じ高さになるようにご確認ください。
- 樹脂金具は片方の穴が楕円になっています。側板・仕切板には必ず樹脂金具の正円の穴が当たるように固定してください。
- バインドビスL=16の締め過ぎにご注意ください。ビスが空回りすると、保持力が無くなり収納の強度を保てなくなる可能性があります。

注意

- 片側(もしくは両側)にオープンスペースがある場合、棚板(固定)を1列につき1枚以上設置してください。また、右記のプランの場合、A位置の棚板(固定)は、下地のある背壁面に固定してください。
- 設置高は床から棚板上面まで500~1200mmの間です。お守りいただけない場合、全体の寸法精度および強度が保てない可能性があります。
- フレーム引出しを取り付ける場合は、上段に必ず棚板(固定)を設置してください。複数設置する場合は最上段のみです。
- バスケットを取り付ける場合は、上段に必ず棚板(固定)、網棚(固定)のいずれかを設置してください。複数設置する場合は最上段のみです。

バスケットの取り外し

バスケットの手前を持ち上げながら取り外してください。



フックハンガーの設置位置について

注意

上段のハンガーパイプ1本に対して1セットのフックハンガーを設置してください。2セット以上を設置すると強度を保てない可能性があります。

幅が狭いフックハンガーの場合、上段のハンガーパイプの端に設置してください。中央に設置すると上段のハンガーパイプがたわむおそれがあります。

耐荷重の目安値

表示のkg数以下の荷重でご使用ください。

部材名	間口	荷重範囲
天板	1300mm以内	30kg以内
棚板(可動・固定兼用)	900mm以内	20kg以内
フリーカット棚板	最大1300mm	20kg以内 必ず固定してご使用ください。
コーナー棚板(可動・固定兼用)	—	20kg以内
網棚(可動・固定兼用)	450・800mm	20kg以内
ハンガーパイプ	1300mm以内	30kg以内 フックハンガーありの場合20kg以内

部材名	間口	荷重範囲
フックハンガー	1000mm以内	10kg以内
スライドハンガー	—	5kg以内
フレーム引出し	450・600・800mm	10kg以内 引出し1段あたり
ボックス引出し	600・800mm	10kg以内 引出し1段あたり
スラックスハンガー ジャットレイ ギャラリーケース	600・800mm	5kg以内 1段あたり
和盆	1000mm	5kg以内 引出し1段あたり
バスケット	450・800mm	5kg以内 バスケット1段あたり